

# 自然の家だより

平成31年  
3月17日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地  
Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 Email: gishizen@he.mirai.ne.jp URL: https://gikyobun.or.jp/gishizen/

自然の家の近くを流れる石田川沿いを散策したところ、「バチャバチャ」という水の音がしました。なにか大きなものが動いているのかな？と、よく見ると50~70センチの大きさのコイが水面近くを群れで泳いでいました。今回のたよりは、身近な川や池でよく見られるコイについて紹介します。

## ～コイの特徴～



- ①口に4本のヒゲがある。
- ②20年以上生き、60センチ~1メートルくらいまで成長する。
- ③一度に数十万粒の卵を産む。
- ④流れのゆるやかな川や池、沼などの水が濁っているところに住んでいる。
- ⑤水草や藻、貝やミミズ、虫、エビ、魚の卵などを食べる。

## 外国からやってきた？

みなさんに親しまれているコイですが、現在、日本で見られるコイのほとんどは、中国やヨーロッパなどから持ち込まれたものの子孫です。主に食用として日本に持ち込まれ、日本各地で養殖されました。これらが逃げ出したり、放流されたりしたものが繁殖して増えました。

日本在来のコイは、もともと西日本に住んでいたと考えられています。外国から来たコイと交配が進み、現在では琵琶湖などにしか残っていません。



## 環境を破壊する？

コイはよごれた水でも生活し、繁殖力も強い。長生きで、大きくなると天敵がいなくなります。そして水草や藻、貝や虫、魚の卵などを食べつくしてしまうため、周りの生き物が少なくなってしまいます。

## 外国からやってきたその他の生物



**ブラックバス**  
食用や釣り対象魚として、アメリカから持ち込まれた。



**ミシシippアカミミガメ**  
ペットとして、アメリカから持ち込まれた。

彼らは自分で日本にやってきたわけではありません。人間が連れてきた生物です。そんなコイやブラックバスが日本の自然の川を泳いでいる姿を見て、みなさんはどのように感じますか？